

具体的な一連の雇用管理に関する援助の業務または実務の経験

		法人としての経験	事業運営責任者の経験	事業実施者の経験
経験年数等	①氏名			
	② 経験年数	35 年	8 年	9 年
	③ 障害種別の経験		☒ 身体障害 ☒ 知的障害 ☒ 精神障害	☒ 身体障害 ☒ 知的障害 ☒ 精神障害
障害者の一連の雇用管理の援助に関する業務又は実務の具体	① 経営陣の理解促進	平成元年設立後35年間に亘り障害者雇用を実施してきた。グループ企業に対して障害者雇用コンサルティング事業（経営者、管理職、一般社員へのアドバイス、研修、面談対応等）を実施している。	親会社へのアドバイス・提言、コンサルティング事業の立ち上げ・運用、社外での事例説明・アドバイス等多数実施。	グループ企業に対するコンサルティング事業に参画している。社外研修会でも講師を務めている。
	② 障害者雇用推進体制の構築	管理職は障害者職業生活相談員の資格を有し、企業在籍型職場適応援助者、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、精神・発達障害者就労支援専門職育成協会認定就労支援士を配置している。これらの者が連携し推進体制を確立している。	同左	自らが有資格者として体制構築に関わっている。企業在籍型職場適応援助者、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、精神・発達障害者就労支援専門職育成協会認定就労支援士、第二種衛生管理者の有資格者。
	③ 社内での障害者雇用の理解促進	グループ企業に対して障害者雇用コンサルティング事業（経営者、管理職、一般社員へのアドバイス、研修、面談対応等）を実施している。	同左	各業務グループリーダーは指導、専任ジョブコーチは支援と役割を分担して連携協力している。管理職・ジョブコーチ月次定例会議を実施している。主任研修を実施している。社員面談の中で社員相互理解を促進している。グループ企業に対する研修及び相談対応も実施している。
	④ 当該事業所内における職務の創出・選定	スキルマップ作成運用により社内全業務の内容と担当者のスキルレベルを可視化し、社員のスキルや適性、特性に応じた新規業務をグループ企業から受託して職務を創出し事業を拡大している。	同左	スキルマップ会議の事務局を担当し職務の創出・選定に参画している。
	⑤ 採用・雇用計画の策定	親会社及びグループ中期経営計画方針に基づく2036年迄のシミュレーションに基づき策定している。	同左及び、親会社・グループ会社にも経験を有する。	障害特性と配慮事項に関する専門知識をもって会社に助言している。

法的 経験	⑥ 求人の申込みに向けた準備など募集や採用活動の準備	上記に基づき詳細な採用活動を計画・準備し、実行している。	同左及び、親会社・グループ会社にて経験有する。	会社の詳細な採用活動計画に基づき、就労移行支援機関と定期的にミーティングを実施するなどして採用活動の準備に携わっている。
	⑦ 社内の支援体制等の環境整備	専任ジョブコーチを2名配置し、安全衛生からカウンセリング、ワーク＆ライフキャリア支援まで有資格専門職による支援体制を整えている。	同左	企業在籍型職場適応援助者、産業カウンセラー、キャリアコンサルタント、精神・発達障害者就労支援専門職育成協会認定就労支援士、第二種衛生管理者の資格を有し、社内ジョブコーチ活用指針・マニュアル・支援計画書を作成して運用するなど、社内の支援体制等の環境整備に関わっている。
	⑧ 採用後の雇用管理や職場定着等	ヘルスチェック（数値）、日報（書き言葉）、ジョブコーチ面談（話し言葉）により適応定着するまで社内ジョブコーチ支援を継続している。キャリアコンサルティングも実施している。	同左	ヘルスチェック（数値）、日報（書き言葉）、ジョブコーチ面談（話し言葉）により適応定着するまで社内ジョブコーチ支援を継続している。合理的配慮運用システムをつくり、キャリアコンサルティングも実施している。

※事業運営責任者または事業実施者を複数名登録する場合は、2名以降の経験については別紙へ記載し
※（表面）1で、「対象障害者の一連の雇用管理に関する援助の業務についての実績を有する法人」を選択した場合は、下記の各項目について記載してください。

【過去3年間における実績】 ●援助の件数
